

■施工上のお願い

- この説明書は、施工される方にお渡しください。
- 取付けねじは、必ず指定のものを使用し、完全に取り付けてください。
- 化粧額縁部分は、下枠下端より100mm出ますので、現場の納まりに合わせて切断してください。
- 本製品は土間納まり専用の商品です。その他に使用する場合は防水処理を行ってください。

■使用ねじ一覧表

(a)	(b)	(仮止め用)
φ3.8×45皿木ねじ	φ4×25ナベタッピンねじ	スクリーン釘φ2.1×25

■取付け順序

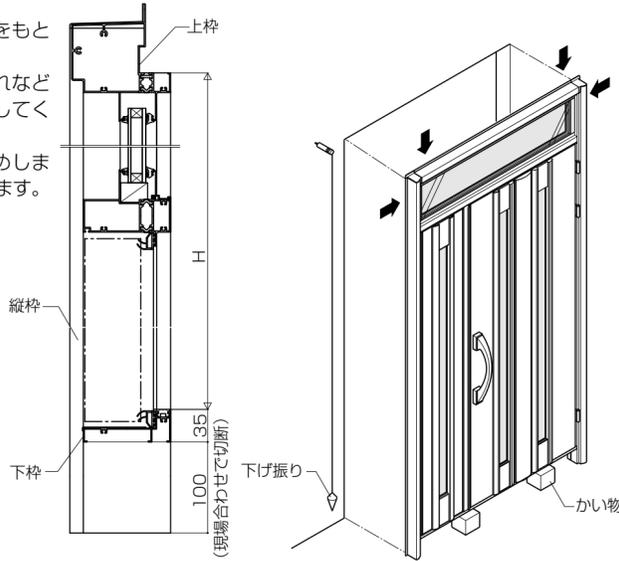
1 開口部の確認

- ①開口寸法(H・W)は、下表(製品基本寸法)をもとに確認してください。
- ②下げ振りで前後・左右の狂いや柱同士のねじれなどを正しく調整し、水準器でマグサの水平を出してください。
- ③扉を枠につり込み、一体にして開口部に仮止めします。→印付近に、仮止め用の釘穴(長穴)があります。

■製品基本寸法

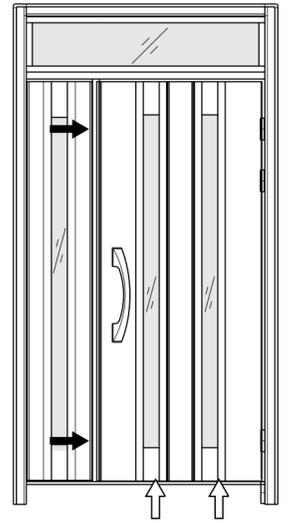
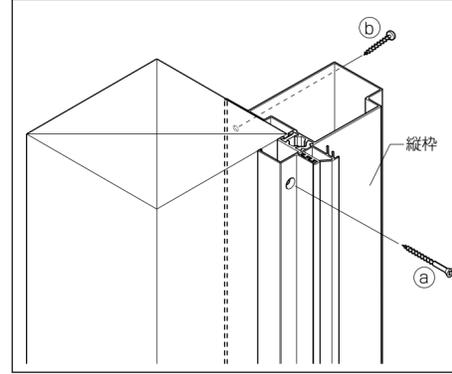
単位: mm

H	20	ランマなし	2017
	23	ランマ付き	2330
W		3R	939
		4.5R	1240
		4.5R(入隅)	1138



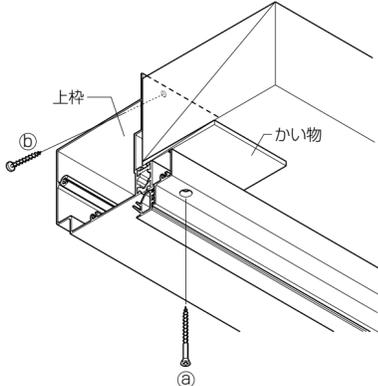
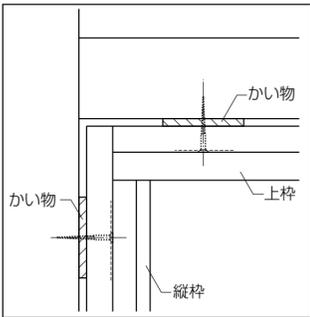
2 躯体への取付けとすき間(チリ)の調整

- ①上下(↑)及び、左右(→)のすき間を均等にし、戸当り気密材が扉と密着するように枠のねじれ・ころびを調整します。



3 躯体への取付け(かい物のお願い)

- 枠と躯体とのすき間には、かい物を当てて、固定してください。
- ※かい物を当てずに固定すると、枠のゆがみやねじれを生じますのでご注意ください。

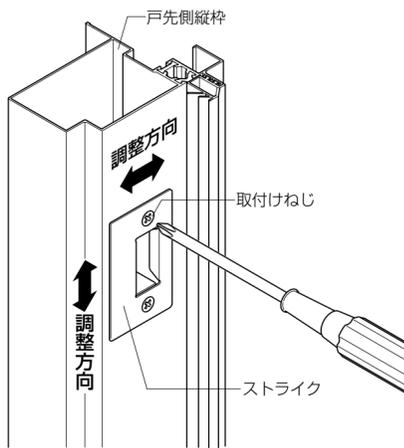


●コンクリート納まりの場合

- ※上・縦枠アンカーは別売りを使用します。
- 取付け説明書はアンカーセットの中に同梱してあります。

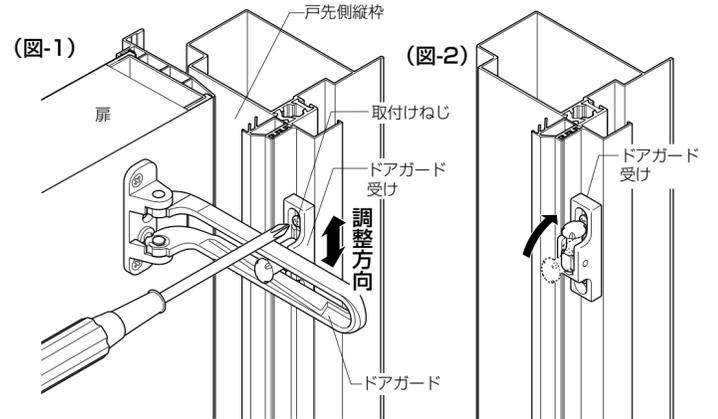
4 ストライクの調整

- ドアロックのラッチがかからない場合は、ストライクの取付けねじをゆるめ、ストライクの位置を調整してください。



5 ドアガードの調整

- ※ドアガードが受けに掛からない場合は、受けの取付けねじをゆるめ、位置を調整してください。(本体側のドアガードは調整できません。)
- ドアガードアームがスムーズに操作できるか確認してから本固定してください。(図-1)
- ドアガードを使用しない場合は、受けの突起を起こしてください。(図-2)

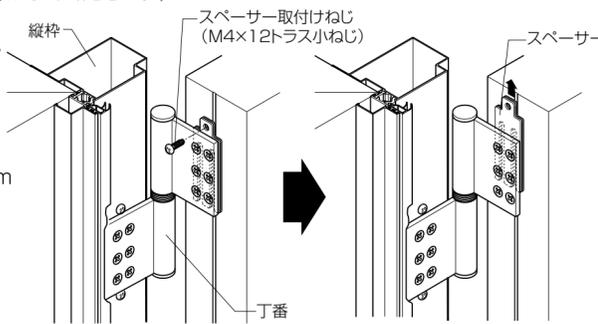


■建付け調整

※本体(又は子扉)をつり込んだ後、枠と本体(又は子扉)のすき間が納まり図通りになっているか確認してください。すき間が納まり図通りになっていない場合は、以下の手順ですき間を調整してください。(納まりは右図を参考にしてください。)

■左右方向のすき間の調整

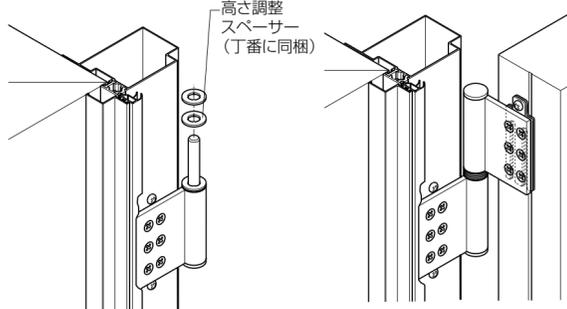
- ※スペーサーはあらかじめ本体に取り付けてあります。
- ①スペーサー取付けねじを外します。
- ②丁番取付けねじ(6本)をゆるめます。
- ③スペーサーを引き抜いて外します。
- ④丁番ねじを締め付けます。
- ※スペーサーを1枚外すと1.5mm、2枚外すと3mmドア本体がつり元側へ寄ります。
- ※スペーサーを追加すると、戸先側へ寄ります。



●お願い
※丁番取付けねじを全部外さないでください。本体が脱落します。

■上下方向のすき間の調整

- ドアを枠から外し、丁番の軸に付属の高さ調整スペーサー(丁番に同梱)を入れます。
- ※1枚入れると1.5mm、2枚入れると3mmドアが上へ上がります。

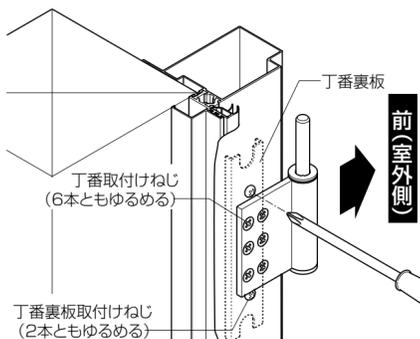


■前後(室内・室外側)方向の調整

- ①ドア本体を枠から外し、枠側の丁番取付けねじ(6本)と丁番裏板取付けねじ(2本)をゆるめます。

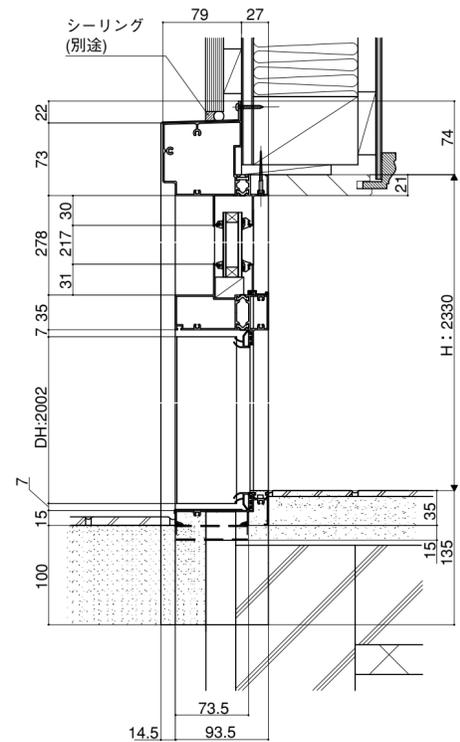
●お願い
※取付けねじ全部を外さないでください。丁番裏板が脱落します。

- ②丁番裏板ごと前に出すと室外側に1.5mm、後にずらすと-1.5mmまでドア本体が動きます。
- ③①でゆるめた丁番取付けねじと丁番裏板取付けねじを締め付けます。



■参考納まり図

●縦断面図



●横断面図

